

篆 刻 研 究

篆刻研究

佐藤 燐 水

今月の課題は「和為貴」とする。

今月の課題は論語の学而編の「礼之用和為貴 先王之道斯為美」から転借した「和為貴」とする。

訓読は「礼の用は和を貴しと為す 先王の道も斯れを美と為す」で、意味は、「礼というものを用いるにあたっては、人の和というものが重要である。古来の聖王である堯・舜などの政治もこの和を重視した素晴らしいものであった」といったところか。

礼の概念は広く、単に礼儀作法に留まらず社会生活の規範つまり道徳的規範のことで儒教では最重要なものである。

参考作品



漢銅印の風格を
持つ佳印。

北 嶺 島 中



遊印や引首印など
多方面に使える印。

水 碧 井 荒



金文体を巧みに刻
したユニークな印。

水 春 田 池



実直で誠実な印。

燐 幸 後 矢

【出品規定】 しめきり：十一月十五日

- ① 印(印影)の大きさは3センチ以内形は自由です。楕円・長方形等も可
- ② 印影を白の半紙1/4に押し、右側に糸幅出品券を貼ってください。
- ③ 応募資格に特に制限はありません。
- ④ 課題文字以外の随意作品も出品できます。消しゴム印も可。